

学校だより松野尾



臨時号 (No.8)
令和7年10月10日
発行 新潟市立松野尾小学校

令和7年度 『全国学力・学習状況調査』の結果について

この調査は、児童生徒の学力や学習の状況、課題等を把握し、対象学年及び他の学年の児童生徒への学習指導の改善・充実等に役立てることを目的としたものです。小学校では6年生を対象に実施しています。今回の結果をもとに、実態把握や結果分析を行い、今後の教育活動に生かしていきたいと考えています。

なお、この調査は学習内容全体を網羅しているものではないこと、また本校は人数が少ないとともあり、この調査の結果が松野尾小全体の学力や教育活動のすべてを表しているわけではないことや、全国比との差が極端に開いてしまう傾向があることをご承知おきください。

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果〔小6〕

教科	松野尾小	新潟県	全国
国語	70	66	66.8
算数	56	56	58
理科	50	55	57.1

1 各教科の正答率の傾向と分析

【国語】

全国と比べて正答率が高かった問題 (松野尾小正答率 83.3 全国正答率 61.6)

○手ぬぐいの包み方について、「調べたこと」をもとに、3つの条件に合うように詳しく書く。
(書くこと)

これは、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかを見る問題です。示された「調べたこと」が箇条書きで分かりやすく示されており、文章に書く材料として引用しやすかったことが要因の一つかもしれません。さらに、6年生では、週末の課題として「テーマ作文」を書くことを継続し、自分の考えを文章に書く経験を積み重ねてきたことも、正答率が上がった一つの理由と考えます。

全国と比べて正答率が低かった問題

(松野尾小正答率 58.3 全国正答率 81.2)

义 1

▲過去の経験を通して、木村さんが気付いたこととして適切なものを選択する。
(我が国の言語文化に関する事項)

これは、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くことができるかどうかを見る問題です(図1)。資料1の「現代」、「言葉の形や意味」、「使い方が変わる」の表現に引っ張られ、選択肢の「時代」「言葉の意味」「使い方」の表現がある1や2を選んでしまったことが

<p>〔資料1〕</p> <p>木村さんの学級では、「言葉の変化」について考ぶために、みんなで「資料1」を読みました。そして、まとめるごとにしました。「資料1」をよく読んであとの間に答えましょう。</p>
<p>〔資料1〕</p> <p>「資料1」を読んで一人一人が興味ももつたごとに、いて調べ、分かることをなどに考えます。</p>
<p>言葉は、年月とともに変化していくものです。かつて焼物的であると考えられていた言葉の形や意味が、現代においては通用しないでいたり、使い方が変わったたりする場合は少なくありません。</p> <p>ですから、意味や使い方に慣れて生きている言葉について、「この使い方が正しい」と決めてけるのは、間違っていると言えるでしょう。(1)この本が著者おおむね書きになると思いますが、文化用語書の意味論的ともいえます。(2)文化用語書一本本とは違う使い方……といった使い方にどうしていいか、言葉の正誤を軽々しく決めるにはできないと考えるからでは、え、どんな言葉を使っていい、どうわけではありません。(3)コミュニケーションの使い道を放棄しておきわけにもいきません。その公なりや深さにも、触れていただきたいと考えています。</p> <p>〔資料1〕</p> <p>言葉は生きているとも言われます。その公なりや深さにも、触れていただきたいと考えています。</p>
<p>(『文化用語書』による)</p>
<p>※1 「規範」……………判断したり行動したりするときの手本。</p> <p>※2 「規範」……………よく考えもせずに、ものごとを簡単に結びつけてしまうこと。</p> <p>※3 「文化庁」……………文化や芸術を伝承する仕事や、文化財を守る仕事などをする、国の機関。</p>

予想されます。また、「資料1」の言葉の形や意味が「通用しない」例や「使い方が変わる」例をイメージすることがやや難しかったと考えます。

<今後の取組>

今後も自分の考えを文章にまとめる経験をあらゆる教科で積んでいくことを継続していきます。加えて、他者の考え方の要旨を「つまり、～ということですね。」などとまとめる経験を積ませるよう今後の授業でも工夫していきます。また、文章中や選択肢の文で、考え方や事実が示されている部分について「例えば」と自分の知識や経験と照らし、書かれている考え方や事実が示す内容をイメージすることも声掛けをしていきます。

【算数】

全国と比べて正答率が高かった問題 (松野尾小正答率 66.7 全国正答率 30.9)

○五角形の面積を求めるために二つの図形に分割し、それぞれの図形の面積の求め方を書く問題(図形)

これは、多角形を三角形や四角形に分割して求積する方法を、式や言葉を用いて記述できるかどうかを見る問題です。基本的な図形の面積を求める公式が示されていたことや、どのように分けるかが二つ示されていたことも、正答率が上がった要因の一つと考えられます。

全国と比べて正答率が低かった問題

▲2022年の全国のブロッコリーの出荷量が2002年の出荷量の約何倍かを棒グラフから読み取って選ぶ問題
(数と計算、データの活用)

(松野尾小正答率 58.3 全国正答率 78.7)

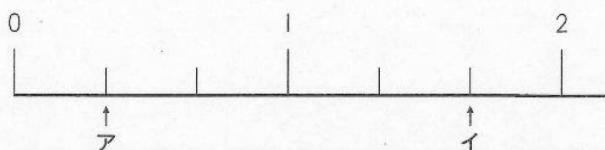
正答は「2 (倍)」ですが、割合ではなく出荷量の増加分「8 (万t)」と解答した誤答が見られました(図2)。

▲数直線上に示された数を分数で書く問題(数と計算)

(松野尾小正答率 16.7 全国正答率 35)

図3

(3) 次の数直線のア、イの目もりが表す数を分数で書きましょう。

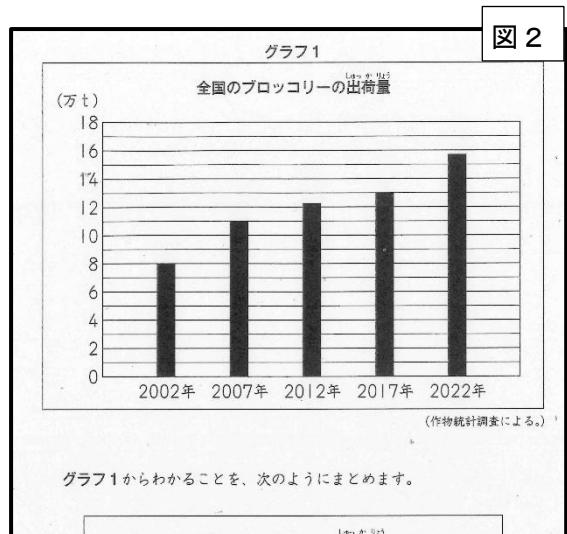


これは、数直線上で1の目盛りに着目し、分数を単位分数(1を等分割した1つ分)のいくつ分と捉えられるかを問う問題です(図3)。ア $1/6$ 、イ $5/6$ という誤答や、ア $1/3$ は正答でもイが違うという誤答が見られました。分数は「全体を1として見たときの相対的な割合」という一面的な捉え方になっていることが伺えます。

<今後の取組>

ただ答えを求めるのではなく、意味や場面理解も大切にし、友達に説明をしたり聞いたりする時間を今後も大切にしていきます。分数と同じように、 $30+50$ は10を単位量に、 $0.3+0.5$ は0.1を単位量とするなど、単位のいくつ分で考える見方を大切にしていきます。

図2



【理科】

全国と比べて正答率が高かった問題 (松野尾小正答率 75 全国正答率 62)

○ヘチマの種子が発芽する条件を調べる実験において、条件を制御した解決の方法を選ぶ問題

実際に丁寧に実験をしたことのある内容だったことや、例が二つ示されていることなどが、正答率が上がった要因と考えられます。

全国と比べて正答率が低かった問題

▲水の結露について、温度によって水の状態が変化するという知識と関連付け、適切に説明しているものを選ぶ問題(「粒子」、「地球」を柱とする領域)(松野尾小正答率 25 全国正答率 57.5)

「A 水が沸騰する→B 水蒸気は冷やされて湯気になる→C 湯気が蒸発して水蒸気になる→D 水蒸気は氷水の入ったコップの表面で冷やされて液体の水になっている。」という水のすがたについてまとめる問題です(図4)。特に下線部の「冷やされて」を「温められ」と答えている誤答が見られました。

<今後の取組>

今後も、既習と関連付けながら予想と実験、考察を丁寧に行っていきます。水蒸気のように目に見えない現象についても、イメージ図やキーワードで整理してまとめたり、自分の言葉で説明したりすることも大切にしていきます。



2 児童質問紙 回答の傾向と分析 () は肯定的評価の割合

○学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。(81.7%)

○授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり生活したりすることができる。(83.4%)

これに加えて、ICTの活用に関する質問は、いずれも肯定的評価が高かったです。

▲読書は好き。(58.3%)

▲新聞を読んでいる。(8.3%)

<今後の取組>

タブレットを効果的に活用しながら、学習を進めていることは今後も継続していきます。学習した内容を次の学習につなげて考えているつぶやきやノートの内容を取り上げるなどし、学習した振り返りを次につなげるとはどのようなことなのか、学んだことを実生活に生かすとはどのようなことか、具体例を示して共有していきます。

読書や新聞については、図書館司書とも連携しながら、もっと子どもたちが本や新聞に親しめるように、こまめに読書の時間を設けたり、楽しい図書館の掲示やイベントなどをしたりと工夫をしています。新聞については、タブレット内に「ふむスタ」という新潟日報が児童向けに提供しているサイトも活用しているので、今後も継続していきます。

学校では、『学ぶことに興味や関心をもち、進んで取り組む子どもの育成』を研究主題にして、特に個別最適な学びを取り入れた授業づくりについて、校内研修を行っています。子どもたち自身が学習方法を選択したり、課題や学習する内容を選択したりする授業も取り入れながら、子どもたちがより主体的に学ぶ授業づくりに努めています。

研究主任 小林 夕紀